

雑草

雑草といえどどんな植物を思い浮かべるだろうか。真っ先に思い浮かべたのはオオバコ。グラウンドの隅に生えている、いわゆる雑草である。抜いた茎の部分を絡ませて引っ張り合うオオバコ相撲を経験した人もいるのではないだろうか。

オオバコは漢字で書く「大葉子」。人や車が通る道に大きな葉を広げて踏んでくださいと言わんばかりの姿が語源のようである。踏まれて葉や茎が折れてしまえば枯れてしまふ。それなのにオオバコは何故踏まれるような場所に生えているのだろうか。実はオオバコの種子は雨などで濡れるとねばねばして、くっつきやすくなっているそうだ。踏まれることで靴やタイヤにくっついて種子を運ぶことができるように、踏まれても茎や葉がダメージを少なくするように内側はスポンジのような構造となっている。踏まれることで自らの目的を果たしている賢い生き方である。

雑草は生えていれば踏まれたり刈られたりする厄介者であり、植物の世界では弱者である。誰にとっても逆境は嫌なものであるが、競争に弱い者は自分の環境を選ぶことはできず、恵まれない不安定な環境で生きざるを得ない。それでも雑草は、その環境に適応できるように変化し、逆境を逆手にとって生き残ってきた。

雑草が長く生き残っていく秘訣に「可塑性の大きさ」があるという。つまり、状況に応じて変化できる力の大きさである。恐らくオオバコはもともと踏まれる植物ではなかったのではないか。綺麗な花を咲かせる訳でもなく、背丈が低いオオバコは踏まれる、いわゆる雑草としての生き方をとったのかもしれない。これによって一流の雑草としての生き方を確立したのだろう。

人や車に踏まれたり、刈られてしまつかもしれない予測不能な環境は、人間も同様である。現代は、激動(Volatility)・不確実(Uncertainty)・複雑(Complexity)・不透明(Ambiguity)の頭文字から「VUCA(ヴァーカ)の時代」と言われている。生活様式を変えざるを得なくなったリ、例を見ない急激な変化が以前よりも多くなってきたように感じる。その中で何とかしようという試行錯誤をしている。

何が起るかかわからない、先が読めないからこそ、雑草は小さくても多くの種子を残す。小さい種子は生命力も弱く、発芽するかわからないが、そのうち一粒でも発芽すれば、種を残すことについては成功と言える。チャンスをついては、チャレンジを繰り返す。こんな時代だからこそ、雑草が生き残ってきたように小さなチャレンジを続けていくことが大切なのかもしれない。

主張 北辰

三年生の進路指導が本格的になってきた。就職を希望する生徒、進学を希望する生徒、個々の希望進路は様々であるが、自らの次のステージに向かう顔つきは変わらない。真剣そのものだ。

時には涙を流し、時には満面の笑みを浮かべて自分自身と向き合っている。

つくづく思う。生徒たちに真剣に向き合わねばと。万が一、思い通りの結果にならなくとも、生徒たちに「やりきった!」という実感を抱けるようにしなければと。

そこそこ頑張っただけの望む結果を手に入れさせたくはない。自分の望む結果を手に入れるために「もう二度とこんな思いはしたくない!」と思うくらい頑張らせたい。

しかし、「そこまで努力して結果が伴わなかった時は・・・」と思われる方もおられるだろう。

大丈夫。「もう二度とこんな思いはしたくない!」というところまで頑張った人間は、たとえ結果が思い通りにならなくても、頑張った結果に辿り着いた場所でまた頑張ることができるのである。また自分自身と真

正面から向き合うことができるのである。

渡辺和子氏の言葉を借りるならば「置か

れた場所で咲ける」のである。

高校卒業後の進路は、生徒たちがこれからどう自分の人生を創り上げていくのかにつながる。彼ら彼女らが、どんな経験をして、そこから何を学び、どう自分自身の人生を紡いでいくのかにつながる。

私たち教職員は、生徒たちの大切な大切な時間に立ち会わせてもらっている。

先にも述べたが、生徒たちの進路は様々である。私たち教職員がまったく知識をもっていない分野もある。

しかし、その未分野の知識を生徒と一緒に学んでいく。十七・八歳の若者と同じ思いで、同じ疑問を抱き、その疑問を一緒に解き明かしていく。私たち教職員の見識が広がっていくのである。なんと楽しい時間ではないか。

進路指導の時間だけに限らず、日々の生徒たちと過ごす時間は、私たち教職員の学びの時間であり、成長の時間でもある。その時間を私たちに与えてくれている若者たちに感謝である。

「施されたら施し返す。恩返しだ!」である。

令和二年神無月十日

変われる力、変わる力

部活動再開！ 3年生最後の雄姿！

新型コロナウイルス感染症の感染拡大をうけ、今年度に入って行われる予定だった高校スポーツの大会がほとんど中止となりました。学校の臨時休業もあり、練習自体が制限される状況が長く続きましたが、6月中旬から部活動が少しずつ再開され、7月からは各競技で大会も始まっています。

中止になった県総体の代替大会と野球の新潟県大会も7月に開催されました。これらの大会をもって高校の部活動を終了する3年生も多く、彼ら彼女らにとっては“最後の大会”として臨んだ大会でした。

達成感や心残り、敗戦の悔しさなど様々な感情が交錯するなか、スポーツができる喜びが生徒から多く感じられた大会となりました。



写真提供: 上越タイムス社

写真提供: 上越タイムス社

主な代替大会成績

◆体操部

百目鬼大揮 (ゆか・あん馬・つり輪 1位)
佐藤 寛太 (鉄棒 1位)
齋藤 花音 (段違い平行棒 1位)

◆ソフトテニス部

男子団体戦
【2回戦】 関根学園 2-1 小千谷西
【3回戦】 関根学園 2-1 万代
【準々決勝】 関根学園 1-2 巻

◆空手道部

小川虎太郎 (個人形 2位)

◆硬式野球部

【2回戦】 関根学園 12-5 高田商業
【3回戦】 関根学園 9-8 新潟産業大学附属
【4回戦】 関根学園 8-5 柏崎
【準々決勝】 関根学園 6-7 上越

硬式野球部

秋季県大会 第3位

硬式野球部が北信越高校野球新潟県大会で第3位となり、10月10日(土)から行われる本大会への出場権を獲得しました！

就職試験がはじまります。

今年度、新型コロナウイルス感染症の影響をうけ、新規高卒者の採用選考スケジュールが1カ月延期されました。就職試験は10月16日以降に始まることになります。この就職試験に向けて、就職希望者は連日面接練習や学科試験のための勉強に励んでいます。

また、今年度は就職希望者の就職活動も大きな制約をうけ、例年多くの高校生が参加していた応募前企業説明会が中止になりました。そこで関根学園では独自に7月14日に「合同企業説明会」を実施し、35の企業の方々に来校していただきました。就職活動をはじめめる生徒にとって、地域の企業を知る良い機会になりました。

関根学園は就職希望者も全力でサポートしていきます。



ホームページをリニューアルしました。

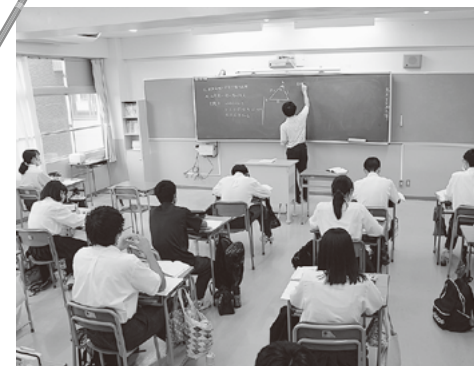
本校ホームページが新しくなりました。今までのコンテンツに加え、地域の方々に“関根学園のいま”を知っていただける内容になっています。この「関根の教育」も、今後ホームページ上にデジタル版を掲載していきます。是非ご覧ください。

<https://www.sekinegakuen.com/>



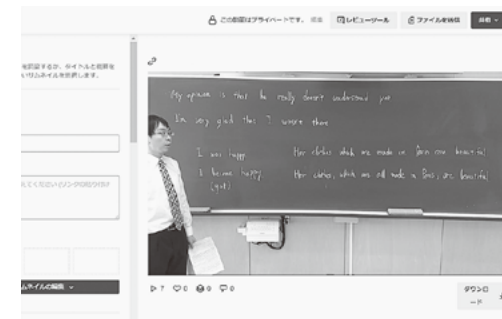
「関根の特進」はじまる！

今年度から新たに「特進コース」が設置され、今年度は19人の生徒がこのコースに籍を置いて学習しています。「特進コース」はグローバルな視野を獲得することも目標としています。シンガポール修学旅行とそれに向けての様々なプログラムの中で、世界的な視野で物事をとらえる力を養います。英語教育にも力を入れ、実際に英語でコミュニケーションをとるために必要な知識の獲得と技能の習得を目標に授業を行っています。



臨時休業中の関根学園

4月～5月の長期にわたる臨時休業のなか、関根学園では以前から導入しているオンライン学習サービスを活用して生徒に学習課題を課すとともに、本校教職員による動画配信も行いました。約1カ月にわたる休業期間で、国数英の3教科を中心に計52本の授業動画が作成され、生徒に配信されました。実際に動画配信を行ってみての課題も多いですが、これが新しい時代の子どもの学習スタイルの一つとなり得るものかもしれません。



オープンスクール開催！

●第4回オープンスクール
10月11日(日) 9:15～

●入試説明会
11月8日(日) 9:00～

※中学校を通して事前に参加申込みをしてください。



8月7日・8日、9月19日、この夏3回のオープンスクールを実施し、あわせて約500人の中学生、保護者の方々に参加していただきました。また、8月29日には部活動体験会を実施し、こちらも約90人の方々に参加していただきました。

オープンスクールでは、本校の教育施設を見学してもらうとともに、授業の一部を体験してもらいまし

た。参加者に検温や手指消毒をお願いするとともに、密を避けながら例年とは異なるプログラムでの実施となりましたが、短い時間のなか関根学園での高校生活を参加者には体験してもらえたかと思います。

10月11日(日)に今年度最後のオープンスクールを、11月8日(日)に入試説明会を実施します。多くの中学生、保護者の方々の参加をお待ちしています。

就学支援金制度が大きく変わりました。

今年度から文部科学省が行う高等学校等就学支援金制度が大きく変わりました。保護者の年収が約590万円未満の世帯には授業料の全額が、910万円未満の世帯には118,800円が授業料に充てるため国から支援金が支給されます。

生徒募集 令和3年度

推薦・スポーツ専願 専願1次・併願入試

試験日 令和3年 1月19日(火)

合格発表 令和3年 1月21日(木)

関根学園高等学校育英奨学金

「漢検」「数検」「英検」などの有資格者は入試種別に関わらず1種及び2種が申請できます。

第1種 … 入学後90,000円と年額最大244,200円

第2種 … 入学後90,000円と年額最大122,100円

※詳しくは本校募集要項・ホームページをご覧ください。